

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 国際センター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育	1. 新設される副専攻(日本語教育コース)の教育・運営体制を充実させるとともに、平成22年度より募集を開始する社会人対象の日本語教員養成講座の教育・運営体制を確立する。 2. 日本語コースwebシステムで蓄積したデータベース及び授業アンケート等の検証を行い、教育内容の改善等を目的としたFDを推進する。	1. 副専攻(日本語教育コース)の学生に対する教育を開始した。また、同コースへの社会人受入態勢を確立し、社会人の履修登録を行った。 2. 非常勤講師の授業評価アンケートを検証し、専任教員による授業見学を実施して授業内容の改善をアドバイスした。
		4 ③ 2 1
研 究	「該当なし」	
		達成度: 4 3 2 1
セ ン タ ー 業 務	1. 国際戦略会議を継続して主催するとともに、JICA、国連機関等との連携を強化し、本学の将来を見据えた国際交流・国際貢献に関する戦略を策定・推進する。 2. 新たな国際交流プログラムに向け、大学(部局)間交流協定の見直しや新規開拓を行う。 3. 留学生相談室および留学生相談受付室を活用して留学生相談指導サービスを向上させるとともに、ハード面において実現した相談指導体制の充実を支えるため、ソフト面での体制の充実を検討し推進する。	1. 国際戦略会議を効率的に開催し、3月に担当理事への提言を取りまとめた。JICAとの人事交流を開始し、JICA職員を教員として招聘、平成22年度よりガーナからのJICA研修生の受入れがすでに確定している。春季休暇中に学生のための海外スタディーツアーをタイ・カンボジア・ベトナムで実施、国連機関・大使館・JICA等を訪問視察した。2. 既存の交流協定の全面的評価を実施、見直しの方向を検討した。学生への海外留学・語学研修アンケートを実施、内容評価を行い、プログラムの充実に活かす準備を整えた。グアム大学等と語学研修実施のための協議を行った。また英国での交換留学実施校を一校、新規開拓した。 3. 留学生相談受付室では個別相談受付のほか、留学生支援室、留学生相談室の管理を行うとともに、岡山大学留学生協会の事務局として同協会を側面から支援し、交流活動を促進した。
		達成度: ④ 3 2 1
社 会 貢 献	1. 国際シンポジウム及びスピーチコンテストを地域社会に公開する形で実施し、地域社会の国際化促進に寄与する。 2. 留学生のホームステイや学校訪問等を企画実施し、留学生と地域住民との交流を図る。	1. 国際シンポジウムを開学60周年記念事業として前期と後期の年二回開催し(うち一回は県の国際交流協会との共催として)、その他、国連キャリア・フォーラムを4回開催した。日本語スピーチコンテストも開学60周年事業の一環として後期に実施した。 2. 前期後期各1回ホームステイを企画実施し、合計41人の留学生が参加してホストファミリーとの交流を深めた。また、前期後期各2回の学校訪問を実施し、延べ87人の留学生が参加して小学生や高校生との交流活動を行った。
		達成度: 4 ③ 2 1
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。 センター業務については、国際交流部門と留学生部門ともに定型的な業務に加え、国際化の方針に関する提言をまとめるなど、当初の組織目標の達成は良好なレベルにあるが、今年度実施された監査報告にもあるようにセンターの実績が見えにくい部分もある。また、全学的に国際化が進展しているとは言い難い状況がある。今後、事務組織の国際課と一体となった新しい国際センターとして改組し、教職協働の全学センターとして体制を整えていく。そのうえで、今年度まとめた提言に沿って行動していく。		

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)